

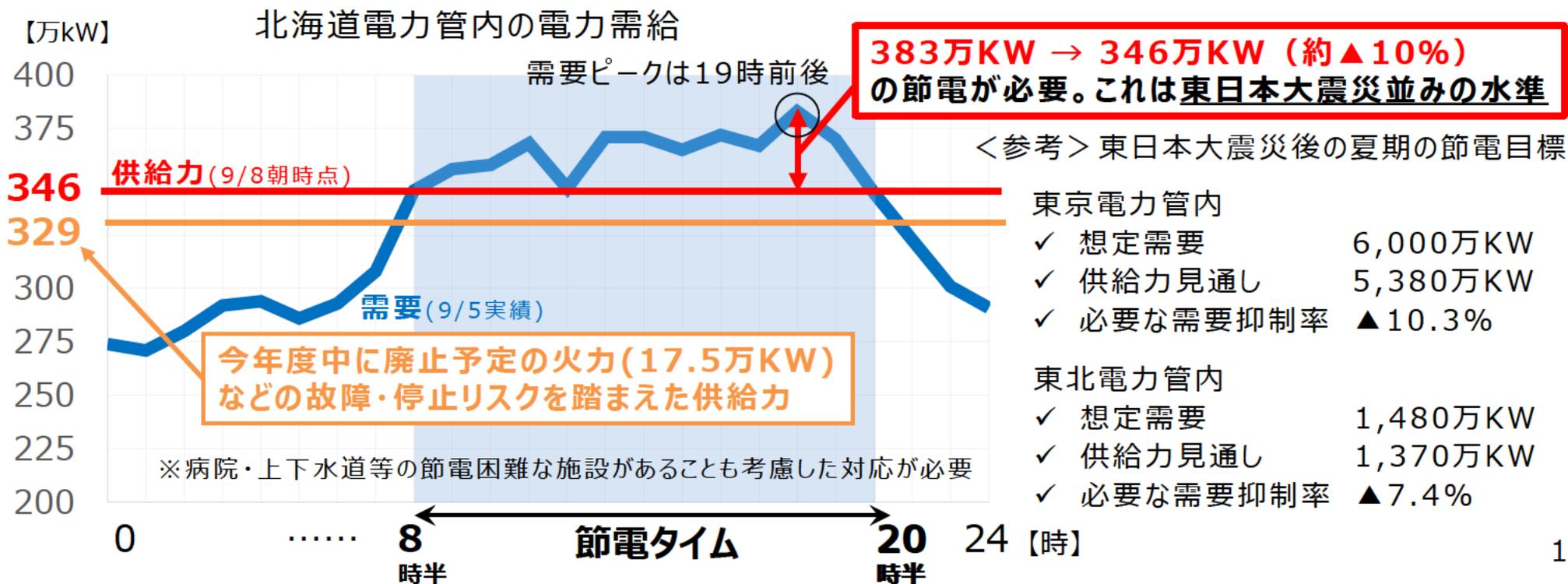
北海道の皆様への節電のお願い と 各主体の取組状況について

平成30年9月11日

資源エネルギー庁

1. 北海道における節電のお願いのポイント

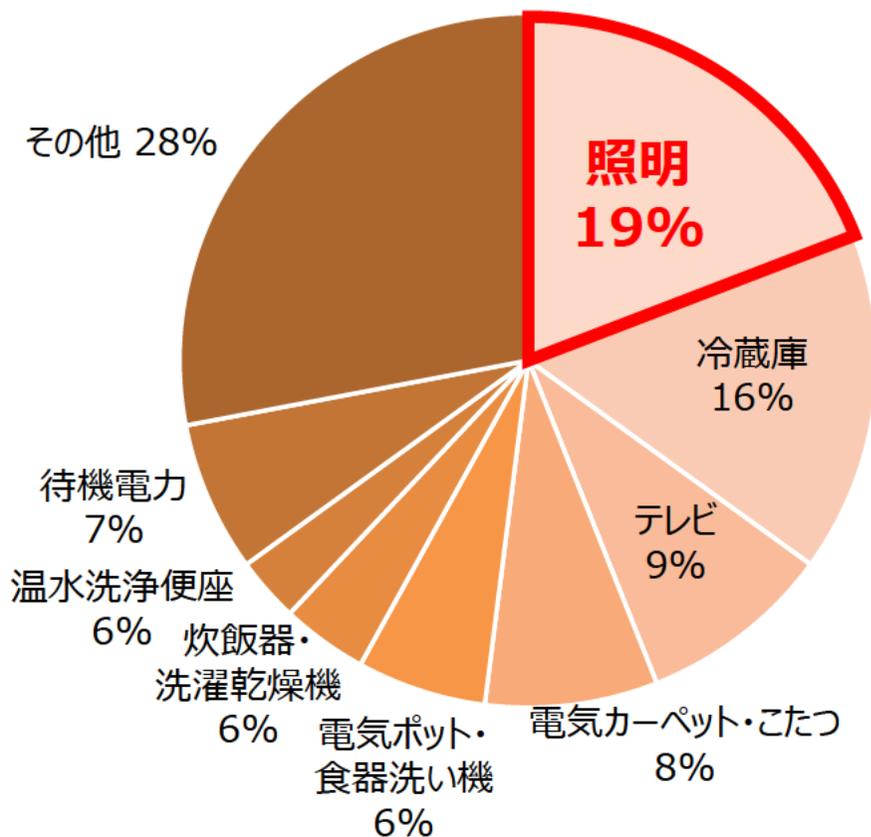
- 9月の平日では、電力需要が増加するのは8:30~20:30(節電タイム)であり、この時間帯に最大限の節電をお願いします(他の時間帯の節電は効果がありません)。
- 大規模停電を避けるため、節電タイムに道内全域で平常時よりも1割程度の節電(東日本大震災後の節電目標並み)が不可欠です。
- 老朽火力発電設備の故障等のリスクや、病院・上下水道等の節電困難な施設があることも踏まえ、家庭・業務・産業の各部門に対し、節電タイム(平日8:30~20:30)において平常時よりも2割の節電を目指すことをお願いします(P3~6の対策をお願いします)。



2. 節電の基礎知識

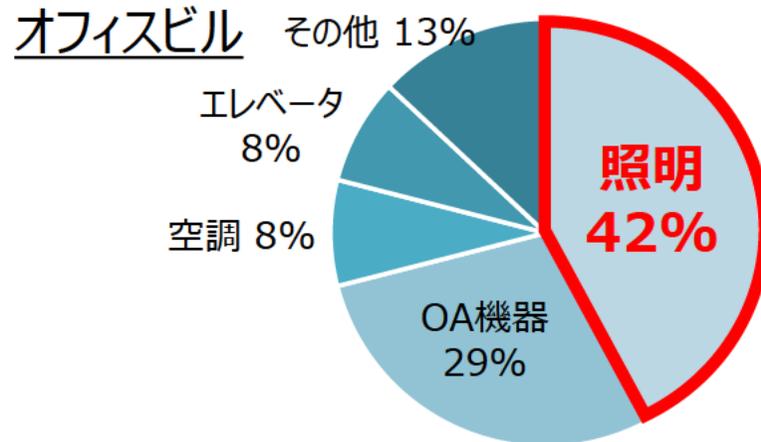
- 家庭・業務部門においては、照明の消費電力が占める割合が最大です。

家庭における消費電力

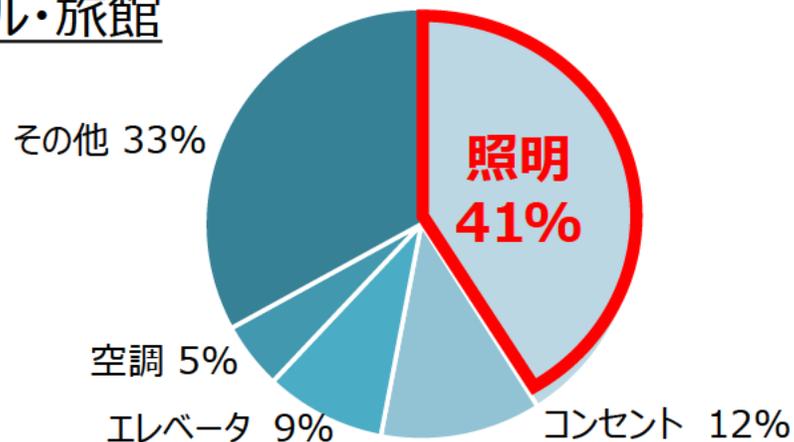


出典：資源エネルギー庁「冬季の節電対策メニュー（ご家庭の皆様）北海道電力管内」（平成25年11月）より作成

業務部門における消費電力



ホテル・旅館



出典：経済産業省「冬季の節電メニュー（事業者の皆様）北海道電力管内」（平成27年10月）より作成

3. 家庭の節電のお願い

- 家庭での使用機器別消費電力量を見ると、照明が最大です。テレビ、冷蔵庫、温水便座、炊飯器などの待機電力も無視できません。
- 家庭内での節電に取り組むことで大きな効果が期待できます。(照明、テレビ、冷蔵庫の対策で11%減)
- 集合住宅ではエレベーターの利用を控えることによる節電(お年寄りの方、体の不自由な方、乳幼児をお連れの方等を除く。2 UP 3 DOWN。)も効果があります。

家庭の節電メニュー

	① 不要な照明をできるだけ消す。 ※照明の3割程度を消灯した場合	7%
	② 省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2%
	③ 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の傷みにご注意ください。	2%
	④ 温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。 ⑤ 上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。	どちらかで 1%
	⑥ 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	3%
	⑦ リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	3%

※在宅家庭のピーク時の消費電力(約700W)に対する削減率の目安(資源エネルギー庁推計)

4. 業務部門の節電のお願い（オフィスビル等）

- 業務用での使用機器別消費電力量を見ると、照明が占める割合が非常に大きく、空調、OA機器での利用が続きます。
- 照明を半分程度間引きする、使用していない会議室や廊下等は消灯を徹底する、エレベーターの利用を控える(お年寄りの方、体の不自由な方、乳幼児をお連れの方等を除く。2 UP 3 DOWN。)など、可能な限りの取組をお願いします。

業務の節電メニュー

タイプ	対策項目	節電効果 目安
照明	執務エリアの照明を半分程度間引きする。	15%
	使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する。	4%
空調	執務室の室内温度を28℃とする （または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。	3% (+2℃の場合)
	使用していないエリアは空調を停止する。	1%
OA 機器	長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3%

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。【出典】：資源エネルギー庁「事業者の節電メニューチェック（北海道）」より作成
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、目安の合計値が実際の削減値と異なる場合があります。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

5. 産業部門の節電のお願い（製造業等）

- 要抑制量調整供給を結んでいる需要家を中心に既に事業面での節電を協力いただいておりますが、**照明の節電や、節電タイム(平日8:30～20:30)の稼働をシフトすることによる電力ピーク抑制等の組み合わせにより、可能な限りの取組をお願いします。**
- **自家発保有企業はその最大限の活用をお願いします。**自家発の出力最大化や生産活動の調整により、**系統電力の使用を極力抑えることが大切です。**

産業の節電メニュー

タイプ	対策項目
照明	使用していないエリアでの消灯を徹底する。
空調	工場内の温度を28℃とする（または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。
生産設備	不要又は待機状態にある電気設備の電源をオフにする。
稼働シフト	事務作業等の時間を調整し、電力ピークをシフトする。
	需給調整契約（料金インセンティブ）に基づくピーク調整、操業シフト。

【自家発の活用】

① 自家発に関する情報把握

供給力、自家消費分、逆潮の可否（量）、備考（燃料不足がある場合はその内容等）。

② 逆潮可能な自家発（逆潮防止装置が付いていない発電機）への要請

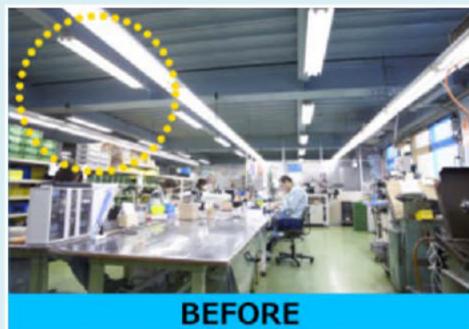
自家発の出力を最大化し、系統需要に使用するため、生産活動の停止又は低減（人命や被災地支援に影響がないものに限る）を要請。

③ 逆潮が不可能な自家発（逆潮防止装置が付いている発電機）への要請

自家発の出力を最大化し、その範囲内で生産活動を可能な限り行ってもらう（系統電力を活用しないこと）を要請。

※逆潮：系統への電気の送電

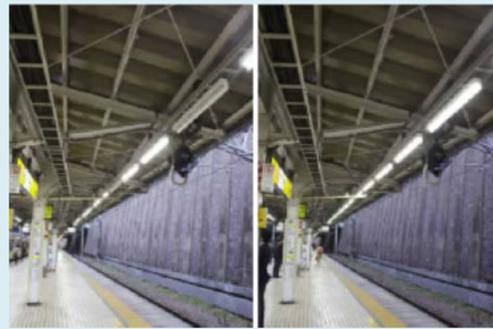
(参考) 東日本大震災時の節電取組事例



BEFORE



AFTER



照明の間引き
オフィスや駅ホーム
における照明
の間引き

イベント等の延期・中止 又は 自家発での対応

文部科学省から社団法人日本野球機構に対し、東京電力・東北電力管内以外での試合開催のための努力、東京電力・東北電力管内での夜間の試合開催自粛を求める通知を発出



6. 政府による節電への協力依頼の状況（全体）

- 家庭・業務・産業の各分野に対し、平常時よりも2割の節電を目指すことを依頼。
 - ⇒ 家庭には、テレビや経済産業省ホームページ等を通じた広報を徹底
 - ⇒ 事業者には、経産省・他省の所管団体、北海道庁等を通じて要請

各部門での節電対策

① 家庭（需要の5割）

家庭での消費電力量では、照明が最大。テレビ、冷蔵庫などの待機電力も多い。3割以上の消灯などの「家庭の節電対策メニュー」を、世の中に広く周知・広報。



広報を徹底
(テレビ、HP、
Twitter等)

② 業務（需要の3割）

照明の割合が非常に大きい。団体や企業に対して、「事業者の節電対策メニュー」を周知し、執務エリアの照明の間引きや、使用していないエリアの消灯を徹底。



- **団体等を通じ要請**
- **大口需要家**
には個別連絡

③ 産業（需要の2割）

業種ごとに使用形態が異なる。関係省庁を通じた所管業界に対する節電要請とともに、道内の大口需要家に対する電話等の個別要請によって、最大限の対応。

7. 節電に係る広報（②エネ庁ホームページでの広報の状況）

- 資源エネルギー庁ホームページにて北海道における節電に関する特設ページを開設。
- 節電メニューの紹介、ポスター・ステッカーの配布、節電サポーターの募集・公表等を実施中。

（掲載ページ） <http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/setsuden/>

節電メニューの紹介

項目	割合
1 不要な照明をできるだけ消す。 ※照明の3割程度を消灯した場合	7%
2 省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2%
3 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の備みにご注意ください。	2%

節電ポスター・ステッカーの配布

節電中であることを説明するため、節電ステッカーや観光客向けの多言語に対応したポスターを配布



ポスター



ステッカー(多言語対応)

節電サポーターの募集・公表

節電の具体的な取組を最大限行うことで、節電タイム（平日8:30～20:30）に平常時より2割程度の節電に取り組まれている企業等をホームページで募集・公表（詳細は次ページ参照）

7. 節電に係る広報（③「節電サポーター」の募集・公表の状況）

- 節電への協力者を「節電サポーター」として、募集し、一覧をエネ庁HPに掲載。
- 9/8から募集開始し、11日16時時点で207者を節電サポーターとして公表。

(募集) <https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/enecho02/setsuden>

(公表) <http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/setsuden/supporter/>

■ 節電サポーターの要件

以下の①～⑤の取組を最大限行うことで、節電タイム（平日8:30～20:30）に平常時より2割程度の節電に取り組まれている企業等。

- ① 照明を半分程度間引きしていること
- ② 使用していないエリア（会議室、廊下等）や点灯が必ずしも必要ではない場所（看板や外部照明等）では、消灯を行っていること
- ③ 使用していないエリアでは、空調を停止していること
- ④ 長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにしていること
- ⑤ その他の節電の取組

節電サポーターの一覧の公表

節電サポーター一覧 (9月11日11時00分時点: 157者)

フォトギャラリーはこちら

私たちは北海道の電力不足に対応するため、平常時より2割以上の節電対策に協力しています！

- | | |
|------------------|---------------------|
| フコオ工業株式会社 | 株式会社 北弘電社 |
| 地崎道路株式会社北海道支店 | 株式会社イトーキ北海道 |
| 日本ユニシス株式会社 北海道支店 | NECソリューションイノベータ株式会社 |
| 株式会社 久保田組 | 高建設株式会社 |
| 北海道航油株式会社 | 苫小牧北谷港運株式会社 |
| 北海道開発局 | 白崎建設(株) |
| 株式会社環境リサーチ | 株式会社再工 |

節電サポーターによる節電取組の写真の公表



7. 節電に係る広報（④節電率及び節電サインの定期配信）

- twitterを通じて、1時間ごとの節電の取組状況を分かりやすく発信。

節電タイム

節電サイン



今すぐ最大限のアクションを！

需要減 8%未満

「今すぐ最大限のアクションを」



今すぐアクションを！

需要減 8%以上 10%未満

「今すぐアクションを」



もう一段節電を！

需要減 10%以上 12%未満

「もう一段節電を」



引き続き節電を！

需要減 12%以上

「引き続き節電を」

本日はありがとうございました。
明日も節電のご協力を
よろしくお願いいたします。



節電タイム以外

「本日はありがとうございました。明日のご協力もお願いいたします。」

twitterを用いた
発信事例



8. 事業者への個別要請と取組状況

- 道内500kW以上の需要家（約700需要場所）、特に2000kW以上の大口需要家を中心に、省内担当課や他省庁を通じて個別に連絡を開始済み。

（企業における取組の例）

● 製造業A社

3つある生産ラインを
2ラインに縮小して生産

⇒2割以上の節電

● 製造業B社、C社

- ・ 自家発の逆潮を最優先
- ・ 当面操業再開を控える

⇒2割以上の節電

● 製造業D社

10日は夜間に操業をシフト、以降も2割削減

⇒2割以上の節電

● 製造業E社

生産設備の一部停止、一部の工程を夜間にシフト等

⇒2割以上の節電

● 製造業F社

当面の間、本州で代替生産

⇒2割以上の節電

● 小売業G社

店内の照明及び空調の調整、
店外モニターの消灯、事務所等の閉鎖

⇒各店舗で2割削減

9. これまでの家庭や企業における取組状況

- 道内では、各部門が節電に向けて、創意工夫のある取組を実践中。

家庭における取組の例

Twitterのハッシュタグ 「#北海道みんなで節電」に寄せられた取組例

- ✓ 照明の間引き
- ✓ 温水便座の電源停止
- ✓ 掃除機は使わず、雑巾を使って掃除
- ✓ 暖房は使わず、服を着こむ
- ✓ 常備菜を一度に作って、冷凍保存する
- ✓ テレビを省エネモードにする
- ✓ ポット、コーヒーメーカー、炊飯器のコンセント抜く
- ✓ 洗濯乾燥機、ドライヤーは節電タイムを避ける
- ✓ 昼間使った掃除機の充電を夜にする
- ✓ 夜間に充電したラジオを使用する



企業における取組の例

「節電サポーター」から 寄せられた取組例

- ✓ 照明の間引き
- ✓ 空調の停止
- ✓ 自家発電機の使用
- ✓ 節電ポスター・ステッカーの掲示
- ✓ エレベーターの一部停止
- ✓ コピー機の稼働台数半減
- ✓ エアタオルの停止
- ✓ 自動ドアの解放
- ✓ 看板・電光掲示板の消灯
- ✓ ロープウェイの運行間隔拡大

照明の間引き、ステッカーの掲示



エレベーターの一部停止



自家発電機の使用



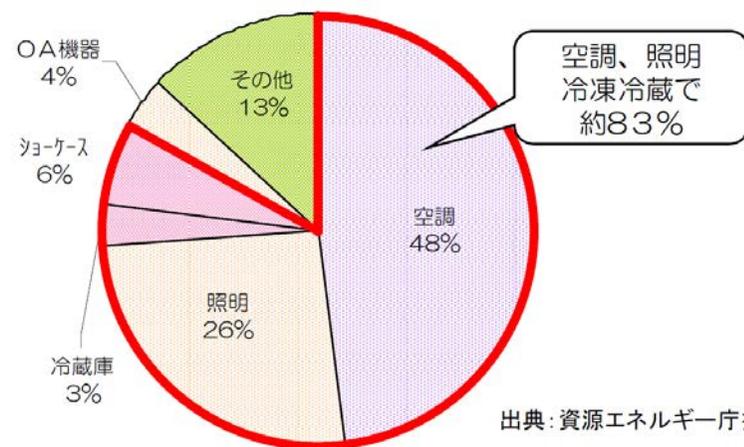
分野別の取組のお願い

(1) 卸・小売店部門

- 卸・小売店においては、電力消費のうち、空調が約48%、照明が約26%、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）が約9%を占めます。
- 卸・小売店の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における空調、照明、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

節電メニュー ～4つの基本アクション～

タイプ	対策項目	節電効果 目安
照明	店舗の照明を半分程度間引きする。	13%
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する。	2%
空調	店舗の室内温度を28℃とする（または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。	4% (+2℃の場合)
OA機器	業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。	1%

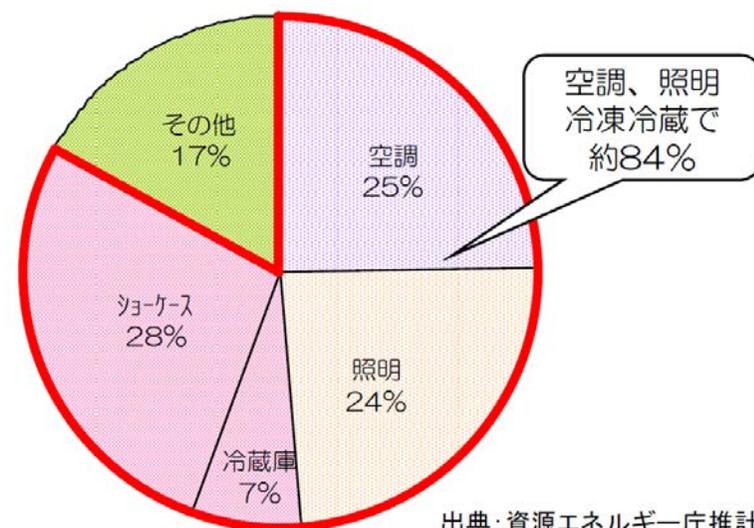


(2) 食品スーパー部門

- 食品スーパーにおいては、電力消費のうち、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース、ショーケース用照明等）が約35%、空調及び照明（一般照明）が約49%を占めます。
- 食品スーパーの節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における空調、照明、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

節電メニュー ～5つの基本アクション～

タイプ	対策項目	節電効果 目安
照明	店舗の照明を半分程度間引きする。	11%
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する。	2%
空調	店舗の室内温度を28℃とする（または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。	1% (+2℃の場合)
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）は空調を停止する。	1%
OA機器	業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。	5%

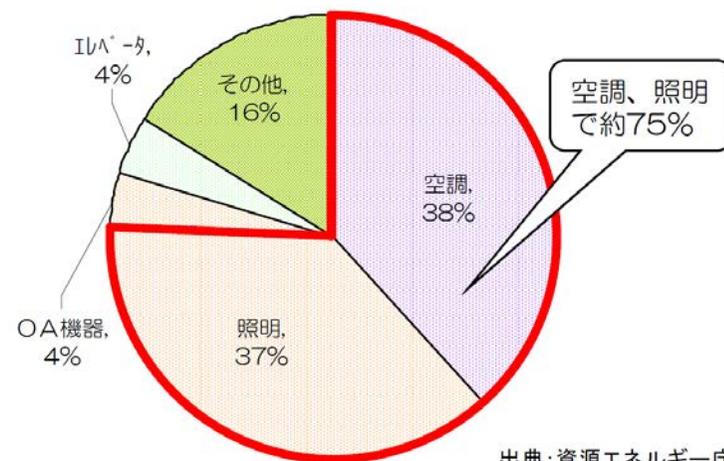


(3) 医療機関部門

- 医療機関においては、電力消費のうち、空調が約38%、照明が約37%を占めます。
- 医療機関の節電対策は、節電タイム(平日8:30~20:30)における空調、照明の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

節電メニュー ~5つの基本アクション~

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	事務室の照明を半分程度間引きする。	4%
	使用していないエリア(外来部門、診療部門の診療時間外)は消灯を徹底する。	4%
空調	病棟、外来、診療部門(検査、手術室等)、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う。	1% (+2℃の場合)
	使用していないエリア(外来、診療部門等の診療時間外)は空調を停止する。	1%
	日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	1%



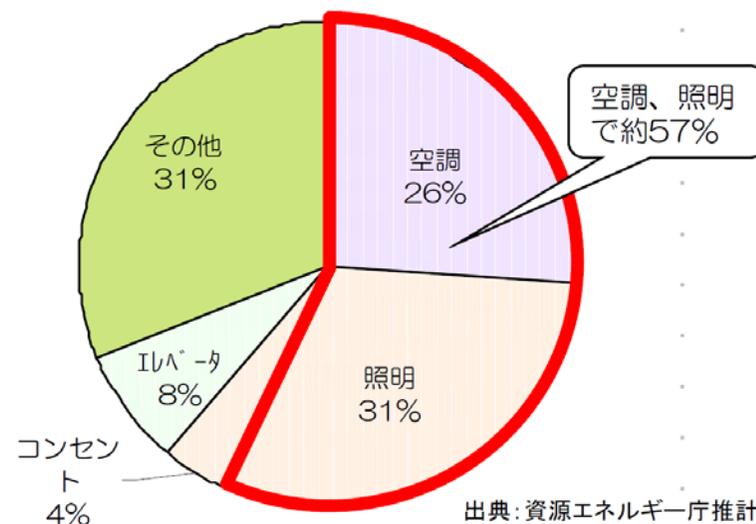
出典:資源エネルギー庁推計

(4) ホテル・旅館部門

- ホテル・旅館においては、電力消費のうち、空調が約26%、照明が約31%を占めます。
(照明の構成としては、概ね、客室：客室以外 = 1：7)
- ホテル・旅館の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における空調、照明、冷凍冷蔵(冷蔵庫、ショーケース等)の電力使用を見直すことが非常に効果的です。
- 節電中であることを説明する外国語のポスターをエネ庁ホームページで配付します。

節電メニュー ～3つの基本アクション～

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする。	13%
空調	使用していないエリア(会議室、宴会場等)は空調を停止する。	1%
	ロビー、廊下、事務室等の室内温度を28℃とする(または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる)。	1% (+2℃の場合)

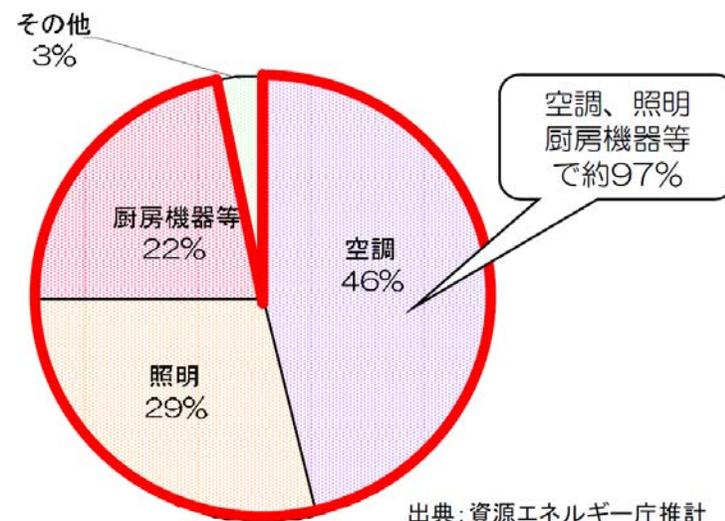


(5) 飲食店部門

- 飲食店においては、電力消費のうち、空調が約46%、照明が約29%、厨房機器等（給湯、冷蔵庫、ショーケース等）で約22%を占めます。
- 飲食店の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における空調、照明、厨房機器等（給湯・冷蔵庫、ショーケース等）の電力使用を見直すことが非常に効果的です。
※ピーク時間帯が営業時間外の場合でも、ピーク時間帯の節電に協力ください。

節電メニュー ～3つの基本アクション～

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	使用していないエリア（事務室等）や不要な場所（看板、外部照明等）の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。	40%
空調	店舗の室内温度を28℃とする（または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。	8% (+2℃の場合)
厨房	冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず、庫内の整理を行うとともに、温度調節等を実施する。	3%

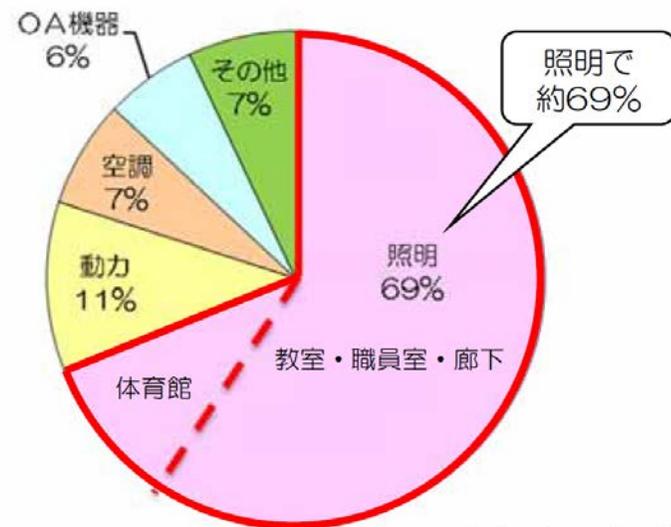


(6) 学校部門

- 夏期の就学日におけるピーク時は、照明が約69%を占めます。
- 小口需要家（小、中、高校）においては、教室部分に空調を設置していない場合が多いため、照明の比率が高くなっています。ただし、空調を設置している学校については、空調の比率が高くなります。
- 学校の節電対策は、節電タイム(平日8:30～20:30)における照明の電力使用を見直すことが非常に効果的です。

節電メニュー ～2つの基本アクション～

タイプ	対策項目	節電効果目安
照明	教室、職員室、廊下の照明を間引きする。	16% (約4割減の場合)
	点灯方法や使用場所を工夫しながら体育館の照明を1 / 4程度間引きする。	2%



出典: 資源エネルギー庁推計

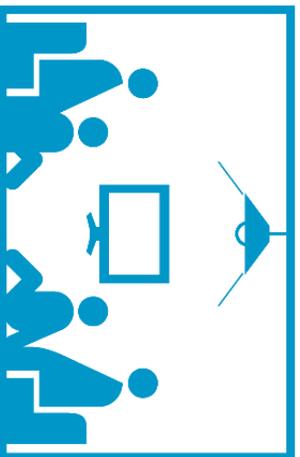
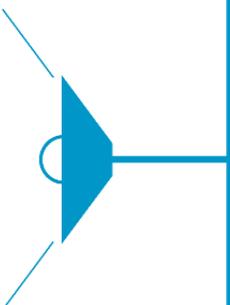
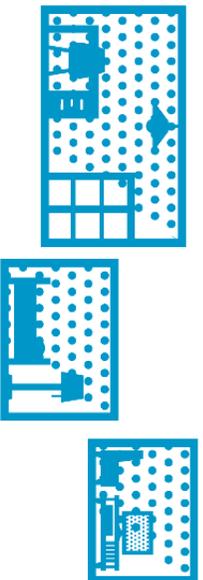
今後の停電を避けるために、
2割の節電をお願いします。

ご家庭向け

#北海道節電20パーセント

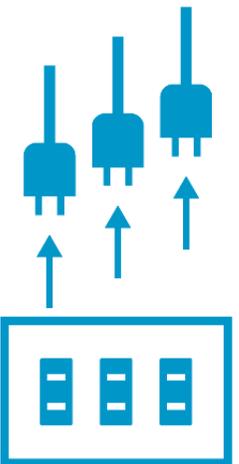
#北海道みんなで節電

#平成30年北海道胆振東部地震



1つの部屋に集まって、
テレビは省エネモードに

ヒント 家庭における消費電力の約3割は、「照明」と「テレビ」です。



3本のコンセントを
抜きましょう

ヒント 洗濯乾燥機、炊飯器、電気ポットが重要です。
冷蔵庫の設定を「強」から「中」へ※。
トイレの温水機能はOFF(オフ)に。



朝8時半から夜8時半
は節電タイム

ヒント ドライヤーと洗濯機・洗濯乾燥機は、
節電タイム以外でお願いします。

※食品の備みにご注意ください。



節電中

Power Saving 省电

時間 平日

Time 时间 Weekday 平日 8:30～20:30

北海道を訪問中の皆様へ

平成30年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震の影響により、北海道内において相当の供給力不足が発生することから、9月7日に経済産業省より節電の要請を受けております。

ご不便おかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

Dear Hokkaido visitors

The Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) has requested all electricity users in Hokkaido to reduce their electricity consumption as much as possible to address the shortage of supply caused by the September 6, 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake.

Thank you for your understanding and kind cooperation.

各位旅客

9月6日发生的2018年北海道胆振东部地震导致了北海道内电力不足，因此9月7日经济产业省请求节电。

感谢您的理解与合作。